

2026年3月期 決算説明

2026年6月3日

たてものを、いきものに

LIVZON 大成温調株式会社

(証券コード：1904)

1 2026年3月期 決算概要 P3~P11

- 連結業績
- セグメント別業績
- 個別業績
- 業績予想

2 中期経営計画 LIVZON DREAM 2030「2nd half!」 P13~P25

- 概要
- 成長戦略・経営資源
- 財務・非財務ターゲット

3 Appendix P27~P38



2026年3月期 決算概要

- 売上高は前期並みの水準となったものの、良好な受注環境を受けた収益性の高い工事の取り込みや、全社的な利益率・生産性向上の取り組みが寄与し、営業利益、経常利益、そして親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも4期連続の増益

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
売上高	61,056	62,502	61,719	△783	△1.3%
完成工事高	58,471	60,337	60,138	△198	△0.3%
売上総利益	8,285	9,094	10,906	1,811	19.9%
完成工事総利益 (完成工事総利益率)	7,961 (13.6%)	8,876 (14.7%)	10,633 (17.7%)	1,757	19.8%
営業利益	3,014	3,115	3,980	865	27.8%
経常利益	3,085	3,483	4,597	1,114	32.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,962	2,487	3,549	1,062	42.7%

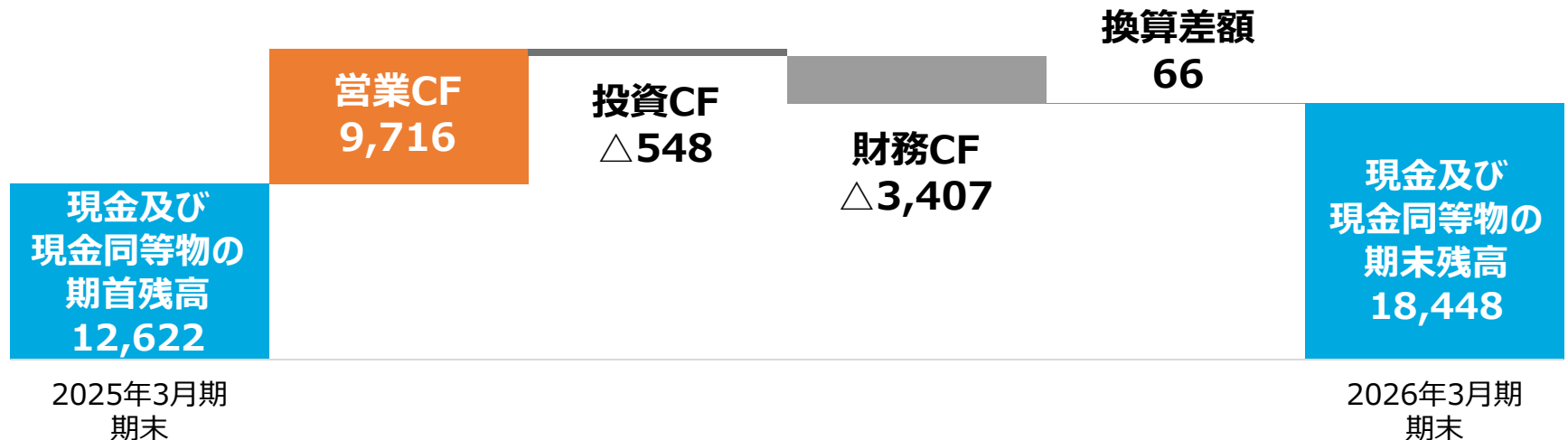
■ 財政状態（連結）の概要

（単位：百万円）

	2025年3月期 期末	2026年3月期 期末	前期比	
			増減額	増減率
総資産	46,411	51,892	5,481	11.8%
純資産	27,628	30,731	3,102	11.2%
自己資本比率	59.5%	59.2%	△0.3pt	—

■ キャッシュ・フロー（連結）の推移

（単位：百万円）



- 主に空気調和、給排水衛生、電気設備などの設備工事事業を中心に展開
- 国内外で多様なプロジェクトに参画し、社会インフラの構築を支えている

セグメント	社名	事業内容
日本	大成温調株式会社	設備工事事業
	ウッドテック株式会社	設備工事事業（消火設備等）
	温調エコシステムズ株式会社	設備工事事業/冷暖房機器等の販売
米国	ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION	設備工事事業
中国	大成温調建築工程（上海）有限公司	建築事業/設備工事事業
オーストラリア	TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY.LIMITED	不動産事業
	NT AUSTRALIA PTY. LIMITED	不動産事業
以下は連結に含まれない		
ベトナム	TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED	投資事業
	TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED	設計積算・施工図作成事業
	SEAREFICO CORPORATION	設備工事事業

- 日本セグメントは良好な受注環境の継続により、前期と同水準で推移
- 米国セグメントは不動産業や建設業の堅調から前期と同水準で推移
- 中国セグメントは中国経済の成長鈍化の影響と着工延期により減収

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
売上高（連結）	61,056	62,502	61,719	△783	△1.3%
日本	45,262	47,386	47,526	140	0.3%
米国	12,933	12,341	12,350	9	0.1%
中国	2,779	2,741	1,793	△948	△34.6%
オーストラリア	80	32	47	15	48.0%

- 日本セグメントは、受注利益率の上昇や工事の順調な進捗に加え、ウッドテック株式会社の収益性向上により増益
- 米国セグメントは、工事の順調な進捗や円安等の影響により過去最高益を達成
- 中国セグメントは、中国経済の成長鈍化を受けた大幅な減収の影響により営業損失を計上

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
営業利益（連結）	3,014	3,115	3,980	865	27.8%
日本	2,161	2,485	3,456	970	39.0%
米国	677	529	821	291	55.1%
中国	126	129	△ 246	△ 375	—
オーストラリア	51	6	19	12	211%

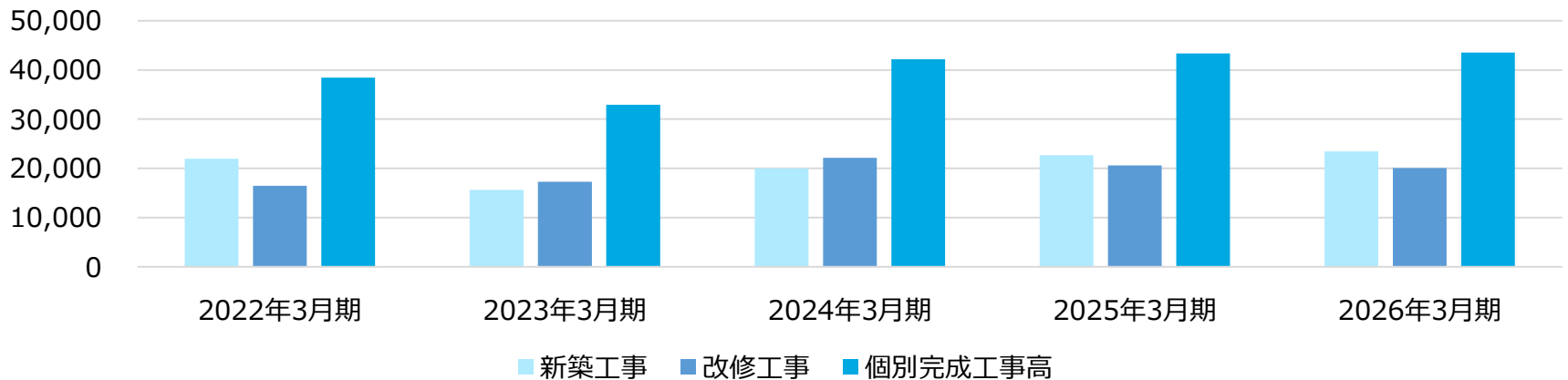
- 新築大型物件の増加に加え、前期および前々期受注案件の進捗により増収
- 改修工事は人的リソースの制約により減収も、今期の受注案件の進捗が完成工事高に寄与

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
個別完成工事高	42,156	43,341	43,540	199	0.5%
新築工事	20,018	22,707	23,459	751	3.3%
改修・保守修理等	22,137	20,634	20,081	△552	△2.7%

(単位：百万円)

個別完成工事高



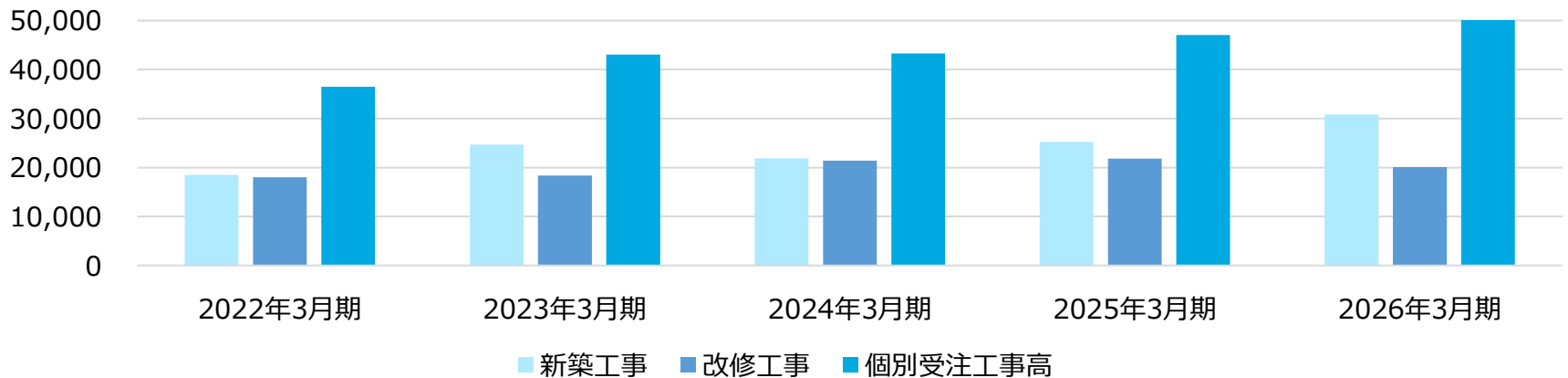
- 官庁事務所施設などの大型新築工事の受注により増加
- 新築工事の割合増加に伴い、改修工事は減少傾向

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
個別受注工事高	43,272	47,037	50,945	3,908	8.3%
新築工事	21,884	25,239	30,853	5,613	22.2%
改修・保守修理等	21,388	21,797	20,092	△1,705	△7.8%

(単位：百万円)

個別受注工事高



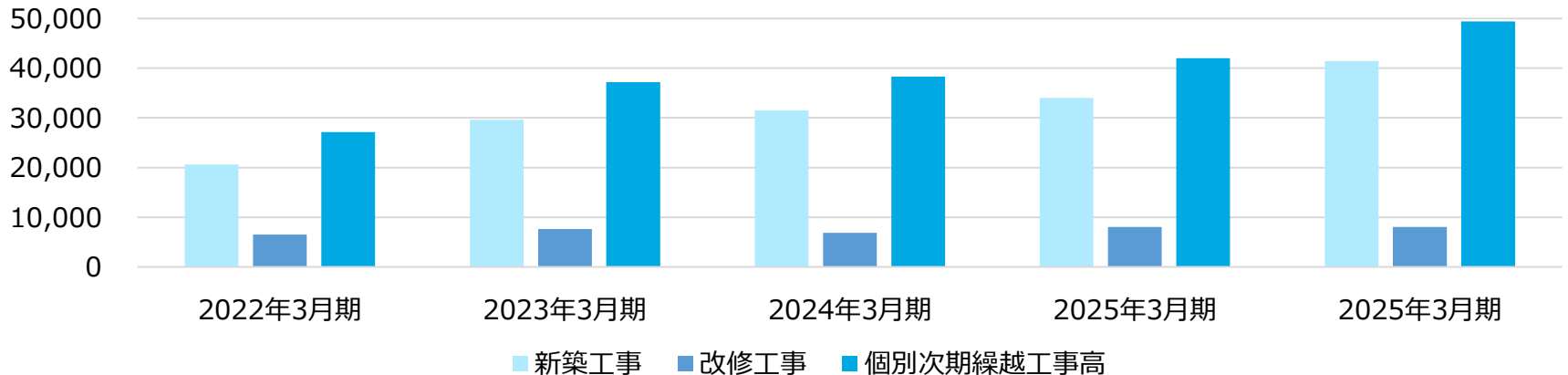
- 良好な受注環境と受注案件の大型化により、次期繰越工事高は引き続き増加傾向
- 大型新築工事の受注が顕著で、改修工事より新築工事の伸びが大きい

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
				増減額	増減率
個別次期繰越工事高	38,331	42,026	49,431	7,404	17.6%
新築工事	31,478	34,011	41,405	7,394	21.7%
改修・保守修理等	6,852	8,015	8,025	10	0.1%

(単位：百万円)

個別次期繰越工事高



- 豊富な繰越工事量により、連結で増収を見込む
- 資機材価格および人件費の上昇傾向、将来の成長に向けた人的投資を含む約10億円の追加投資の影響により、連結営業利益および経常利益では減益予想であるが、固定資産売却益により当期純利益では増益を見込む

(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 (予測値)	前期比	
			増減額	増減率
売上高 (連結)	61,719	64,000	2,281	3.7%
営業利益 (連結)	3,980	3,700	△280	△7.0%
経常利益 (連結)	4,597	3,870	△727	△15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (連結)	3,549	5,300	1,751	49.3%

大成温調株式会社

中期経営計画

FY2026～FY2030

LIVZON DREAM 2030
2nd half!

たてものを、いきものに

LIVZON

1 概要 P14~P15

- 計画サマリーとコンセプト
- 「1st half!」の振り返り

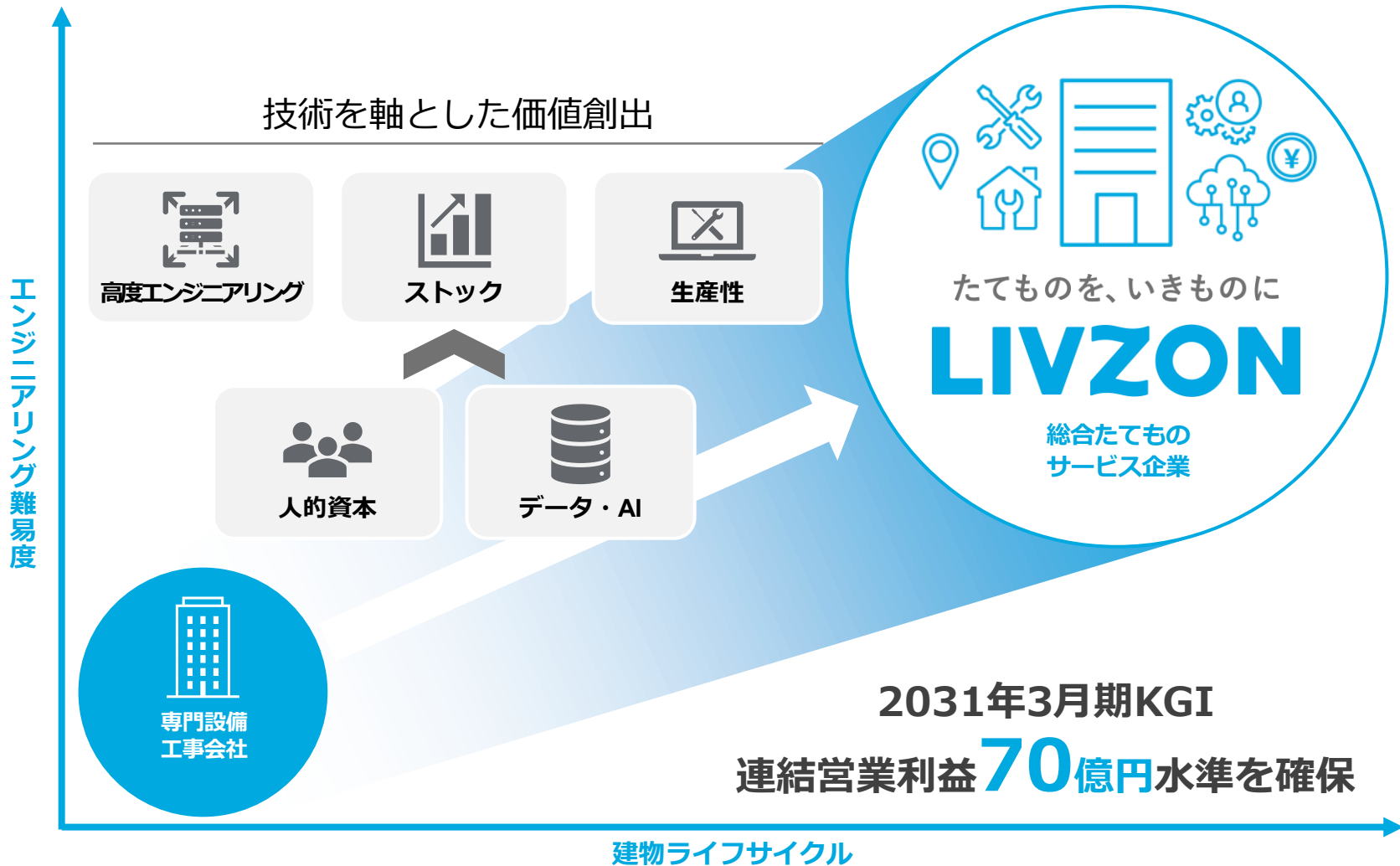
2 成長戦略・経営資源 P16~P22

- 今後の経営課題
- 成長戦略 (①~③)
- 経営資源 (①~②)

3 財務・非財務ターゲット P23~P25

- キャピタルアロケーション
- リスクマネジメント・サステナビリティ
- 成長目標 (KGI)

「技術」をコアとして「人財とデータ」で成長を加速する



収益力と事業基盤の両面で変革を進め、すべてのKPIを達成

「1st half!」の結果と振り返り

KPI	「1st half!」 ターゲット	2026年3月期
営業利益率	5.0%以上	6.4%
ROE	8.0%以上	12.2%
EPS	250円以上	573円
DOE	2.5%以上	3.8%

定性面

- 受注案件審査・原価管理の高度化
- DX・データ活用基盤の整備
- 現場支援体制の拡充
- 人財投資：スキルアップ&処遇の改善



“稼ぐ構造”の確立

「1st half!」の推進中に変化した前提条件を踏まえて、成長戦略をアップデート

外部環境の変化

高付加価値市場の拡大

- データセンターや半導体を中心に、高度な技術対応が求められる市場の拡大が継続

ストック需要の高まり

- 建築費やエネルギーコストの高騰を背景に、既存建物の改修・更新需要が拡大

施工能力制約の拡大

- 人手不足や時間外規制の定着により、施工能力を取り巻く制約が一段と拡大



高付加価値・ストック・生産性の3軸の収益構造を再構築

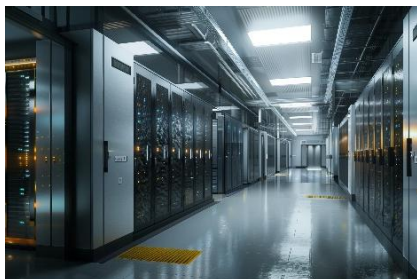
産業用・医療用施設案件等で培った技術力を活用し、高度エンジニアリング領域を拡大

背景

- 高付加価値市場の急成長
- 人手不足等による施工能力の制約
- 高度エンジニアリング領域で一定の実績と技術力を確保

狙い

- 成長市場へ資源配分し、案件単価・収益性を高める



主要施策

1 経営資源の集中

- データセンター
- 半導体
- 医薬
- GX

2 技術力強化

- 高効率空調、冗長設計、温湿度・清浄度管理への対応強化
- 設計段階からの提案力強化

3 外部連携・M&Aの活用

- 専門技術、人財、周辺機能の獲得
- 重点領域での対応力の早期補完

KPI

- 高度エンジニアリング領域の受注比率：20%以上

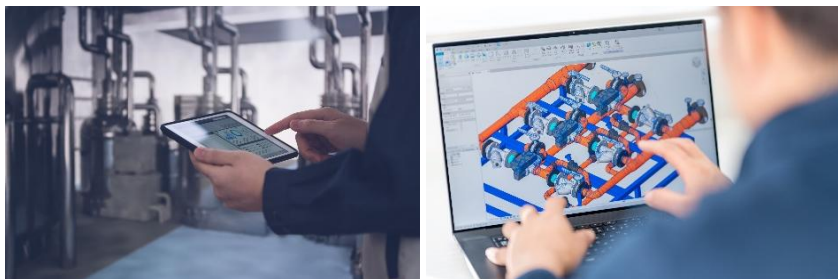
建築費・エネルギーコスト上昇に伴うストック需要を取り込み、データ・AI活用により保守・改修領域での継続収益を最大化

背景

- 建築費の上昇やエネルギーコストの高騰
- BIMやAI等デジタル技術の加速

狙い

- 設計・施工起点のデータを活用し、継続収益を確保



主要施策

① 起点（顧客獲得+データ基盤）

- 設計・施工を起点に顧客接点とデータを蓄積
- ハード（BIM）、ソフト（運用）データ活用基盤の構築

② 継続（ストック×データ活用）

- 保守メンテナンス・診断サービスにデータ・DXを活用
- ストックサービスの高度化、収益の安定化

③ 拡張（データドリブン提案）

- データに基づく改修・更新提案の高度化

KPI

- 保守・改修領域の受注比率：50%以上

DX・標準化・外部活用で業務にレバレッジをかけ、人財投資と両立しながら付加価値創出を最大化

背景

- 施工人員の不足・高齢化が進行し、労働供給に制約
- 業務の属人化・非効率が生産性のボトルネック
- DX活用や業務効率が企業競争力を左右

狙い

- 従業員一人当たり生産性の向上



主要施策

① 分業・外部活用（オフショア／現場支援）

- エンジニアリング業務の効率化、施工支援機能の強化

② データ連携の実装とAI活用の推進

- LIVZONサイバープラットフォーム
- データ連携基盤による情報共有と意思決定の高度化

③ 設計・施工の標準化（BIM、ユニット化）

- オフサイト施工、ユニット工法の推進
- BIM施工図の採用拡大によるフロントローディング

KPI

- 中規模以上のPJにおけるオフサイト施工採用率：80%
- 国内単体の一人当たり売上高：30%増（2026年3月期比）

「人的資本×データ」を基盤に、単価・ストック収益・効率を同時に向上



内部・外部の人的リソースの活用により、成長を支える人的基盤を強化し、組織としてのパフォーマンスを最大化

組織パフォーマンス（人件費効率[※]）を最大化

内部リソース

採用強化

- 重点領域やDX対応を担う人財の採用を強化し、成長分野への対応力を高める

育成・リスキリング

- 技術教育、リーダー育成、資格取得支援を通じて専門性と現場対応力の向上を図る

処遇改善・エンゲージメントの向上

- 公正な評価制度、柔軟な働き方、エンゲージメント向上施策を通じて、定着率と組織力を高める

外部リソース

パートナー企業との連携強化

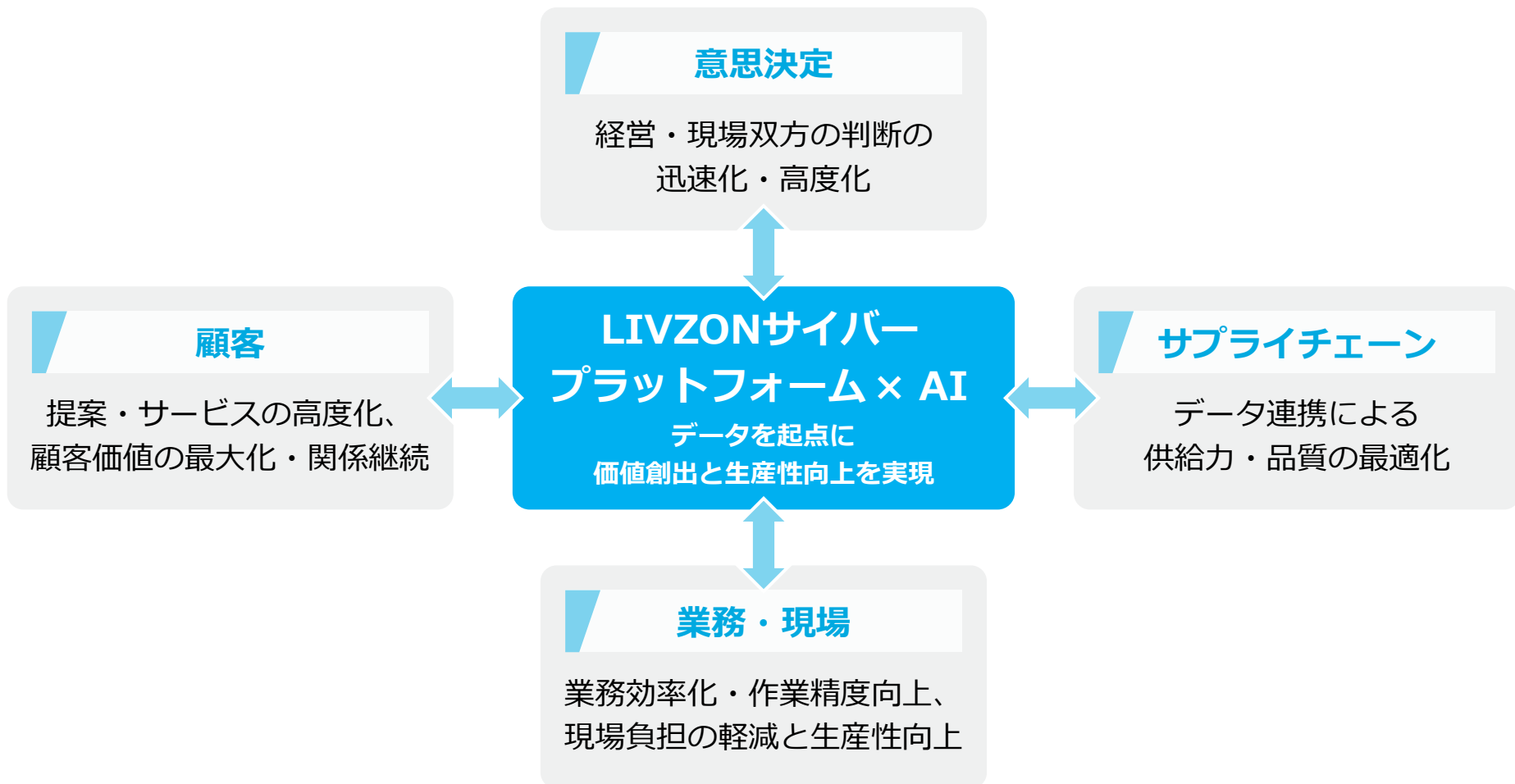
- 施工キャパシティの拡大へ向け、質・量ともにパートナー企業との連携を高度化させる

戦略的アライアンス、M&Aの活用

- 外部企業との業務・資本提携などアライアンスを積極化し、人的リソースの増強を図る

※人件費効率：「創出付加価値÷投入人件費」で算出される内部管理指標

LIVZONサイバープラットフォーム[※]×AIにより、業務・組織・サービスを一体で高度化し、付加価値創出と生産性を向上



※LIVZONサイバープラットフォーム：

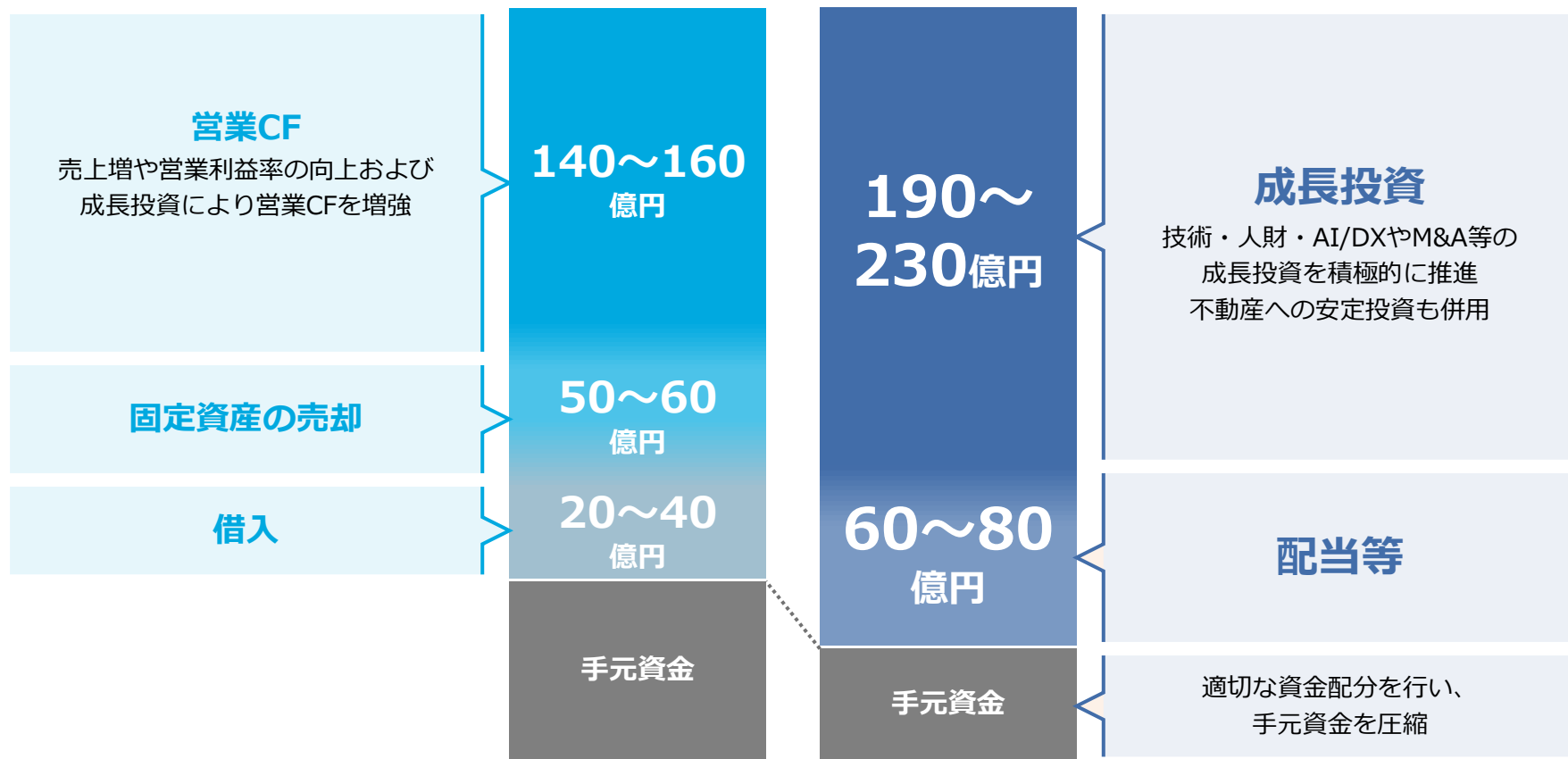
新ERPを中心として、各ビジネスプロセスアプリケーションを接続し多角的にデータ連携させる仕組み

営業CFの創出に加え、固定資産売却や手元資金水準の最適化を進めながら、成長投資と株主還元を両立するキャッシュアロケーションを推進

(2026年3月期～2031年3月期)

キャッシュイン

キャッシュアウト



多様化するリスクへの対応を強化するとともに、
脱炭素・省エネ・ZEB等への対応を通じて、中長期的な事業機会の拡大を図る

リスクマネジメント

全社リスク管理体制の強化

- 重要リスクの評価・管理体制の整備

有事対応の強化

- 自然災害・事故等への対応力強化
- サイバーセキュリティ対策の高度化

サプライチェーンリスクの管理・低減

- コスト・品質・納期・安全リスクの管理
- 環境・人権・法令順守への対応

サステナビリティ

脱炭素・省エネ対応

- GHG排出量の可視化・削減
- 搬入効率化・ユニット化等による現場負荷低減

事業機会の拡大

- 省エネ・ZEB・設備更新需要への対応
- 環境提案力の強化による付加価値向上

グループガバナンス

コーポレートガバナンスの強化

- 取締役会実効性の向上、内部統制の高度化

グループ会社の戦略の明確化

- リスクを踏まえた海外事業の拡大、国内子会社との相乗効果発揮

3つの成長戦略に紐づくKPIを着実に積み上げることで
収益力と資本効率を伴う成長を実現し、継続的な企業価値向上につなげる

「2nd half!」目標

2031年3月期

営業利益額	70億円以上
ROE	12.0%以上 [※]
EPS	810円以上
DOE	4.0%以上

「1st half!」終了時

2026年3月期

営業利益額	39億円
ROE	12.2%
EPS	573円
DOE	3.8%

「1st half!」開始時

2021年3月期

営業利益額	13億円
ROE	4.0%
EPS	174円
DOE	2.0%

※自社株買いを除く

Appendix

社名	大成温調株式会社 (TAISEI ONCHO CO., LTD.)
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 1904)
創業	1941年 (昭和16年) 4月3日
設立	1952年 (昭和27年) 12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
本社所在地	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目49番10号
主な事業内容	空調・給排水・電気設備の設計、施工管理、メンテナンス。 産業用クリーンルームや省エネソリューションも。海外にも展開。
従業員数	連結: 783名、単体: 581名 (2026年3月期末時点)
代表者	代表取締役 社長執行役員 水谷 憲一

たてものを、いきものに

LIVZON

大成温調株式会社

コンセプト

創業80周年記念事業として、「たてものを、いきものに」をステートメントに企業ブランドとして誕生。建築物と地域社会に命を吹き込むことを表している。

LIVZONの由来

人々の暮らしや営みを表す「LIVE」と、未知を表す「Z」、そして、物事を活性化させていくという意味の「ON」を組み合わせた。未知の領域に絶えず挑戦し、人々の暮らしを豊かにしていくというLIVZONの意思と約束を表現している。

- 設備の構成要素となる各種機器・器具を、ダクト・配管や配線で最適に繋ぎ合わせ、システム全体を正常かつ省エネで機能させる

建築工事

建物の構造をつくる

設備工事

建物の中身・システムをつくる

空調設備・換気設備

室内の温湿度を調節したり、空気を入れ替えることで、各空間に適した室内環境に保つ役割を果たします。

空調設備・換気設備は、快適な暮らしを支えています。



給排水衛生設備

トイレや浴室など、建物の水まわりで必要十分量の水を安心して使用できる機能を提供します。

給排水衛生設備は、清潔な暮らしを支えています。



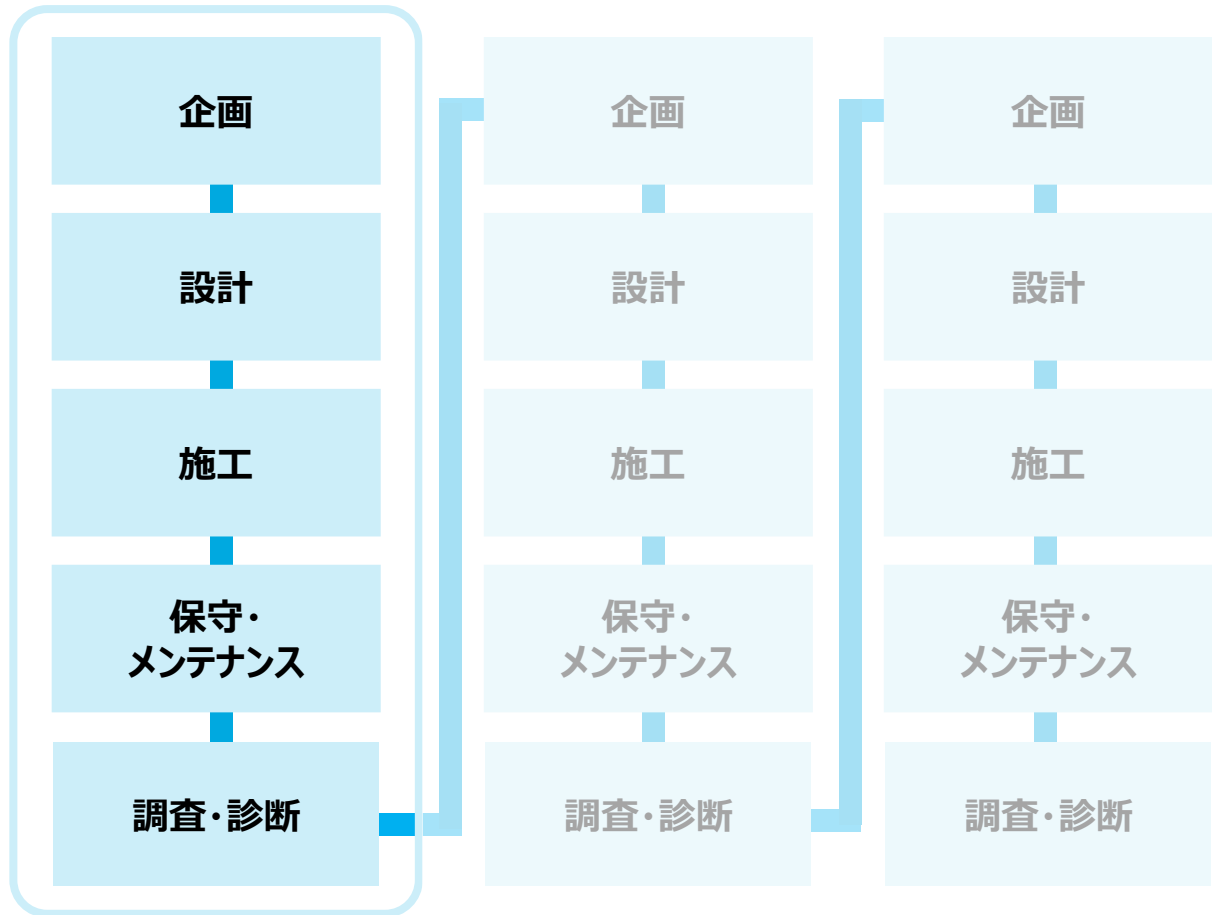
電気設備

電力会社から供給される電気を建物に取り入れ、照明や電化製品をスイッチひとつで使える環境を提供します。

電気設備は、便利な暮らしを支えています。



- 建物に関する提案から施工・保守サービスまで一貫して対応。建物の価値を一生涯高めていく



海外における関係会社

- **ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION** 
(アラカイ メカニカル コーポレーション)
- **大成温調建築工程（上海）有限公司** 
- **TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED** 
(大成温調 ベトナム ホールディングス カンパニー リミテッド)
- **TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED** 
(トップ エンジニアリング ベトナム カンパニー リミテッド)
- **SEAREFICO CORPORATION** 
(シーレフィコ コーポレーション)
- **TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(大成温調 オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)
- **NT AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(エヌティー オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)

- 本社・支店8か所、営業所22か所、サービスステーション13か所あり、全国で施工対応が可能

《本社・支店》

本社	東京都品川区大井1-49-10 大成温調ビル
東北支店	宮城県仙台市宮城野区榴岡2-4-22 仙台東口ビル8F
関東支店	埼玉県さいたま市北区宮原町2-34-3
東関東支店	千葉県千葉市中央区新田町1-1 IMI未来ビル4F
横浜支店	神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 大樹生命横浜桜木町ビル4F
名古屋支店	愛知県名古屋市中区錦3-6-34 太陽生命名古屋ビル11F
大阪支店	大阪府大阪市中央区谷町4-11-6 中央日土地谷町ビル6F
九州支店	福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-28 ヴィトリアビル2F

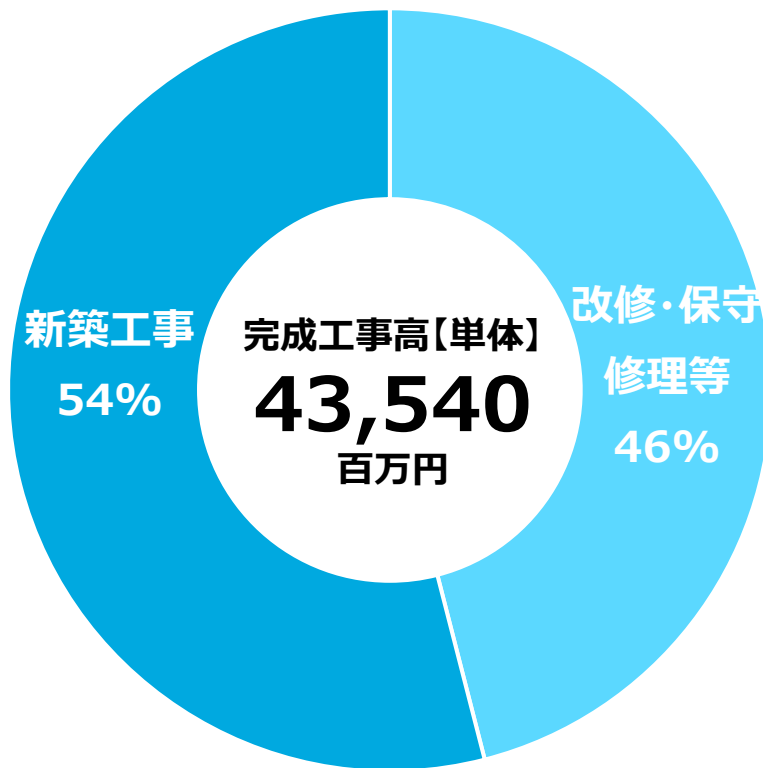
《国内関係会社》

ウッドテック株式会社	千葉県印西市小林3990-1
温調エコシステムズ株式会社	東京都品川区大井1-24-5 大井町センタービル5F

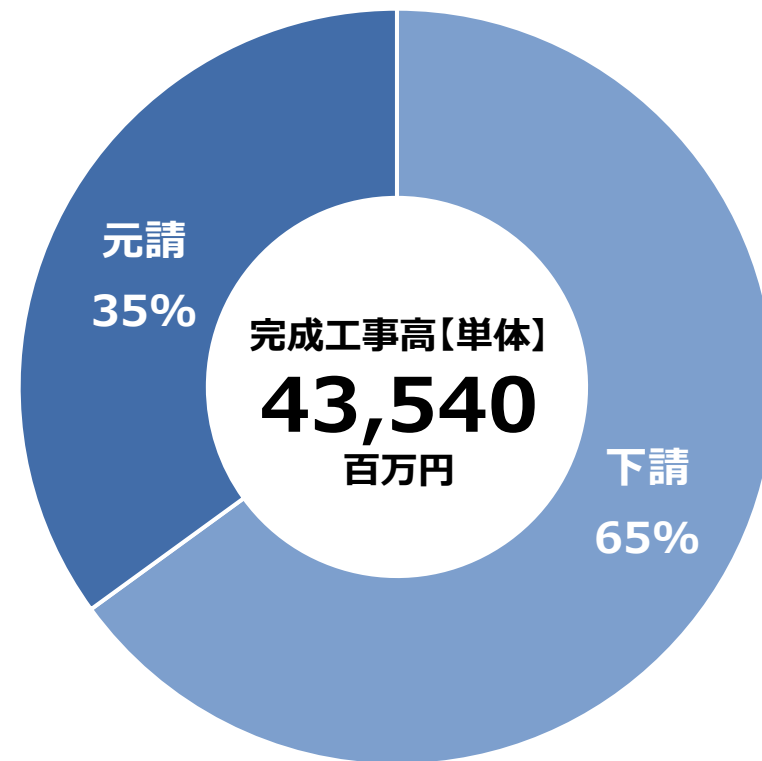
(2026年3月期末時点)

【完成工事高】売上構成比率（新築/改修、元請/下請）

新築/改修



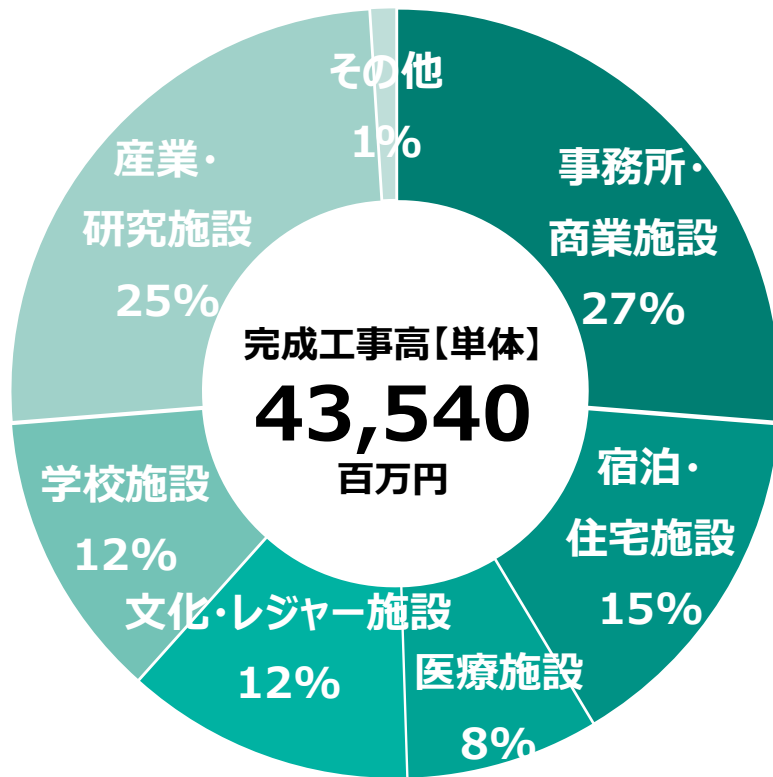
元請/下請



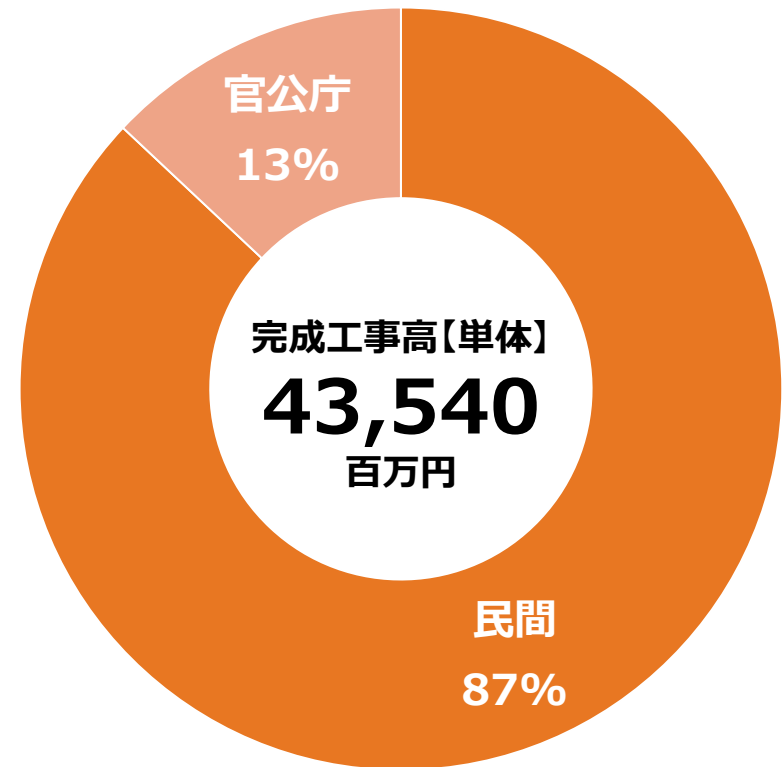
(2026年3月期実績)

【完成工事高】売上構成比率（建物用途、官公庁/民間）

建物用途



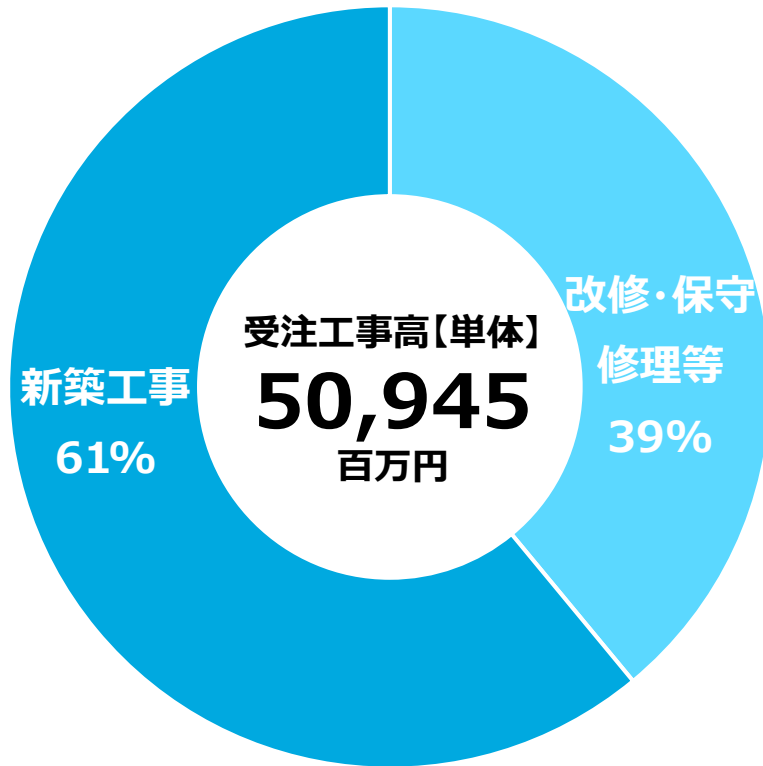
官公庁/民間



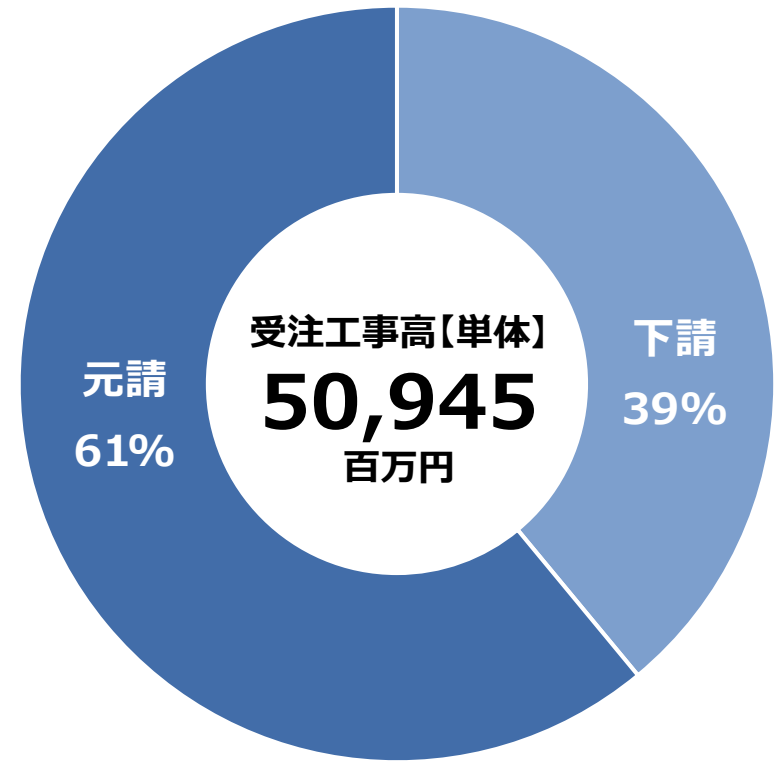
（2026年3月期実績）

【受注工事高】売上構成比率（新築/改修、元請/下請）

新築/改修



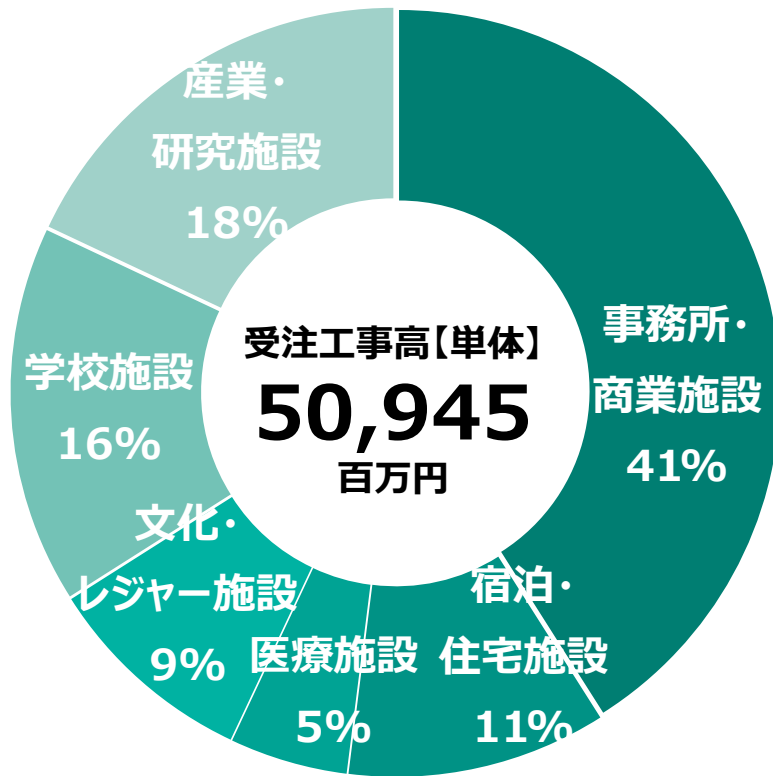
元請/下請



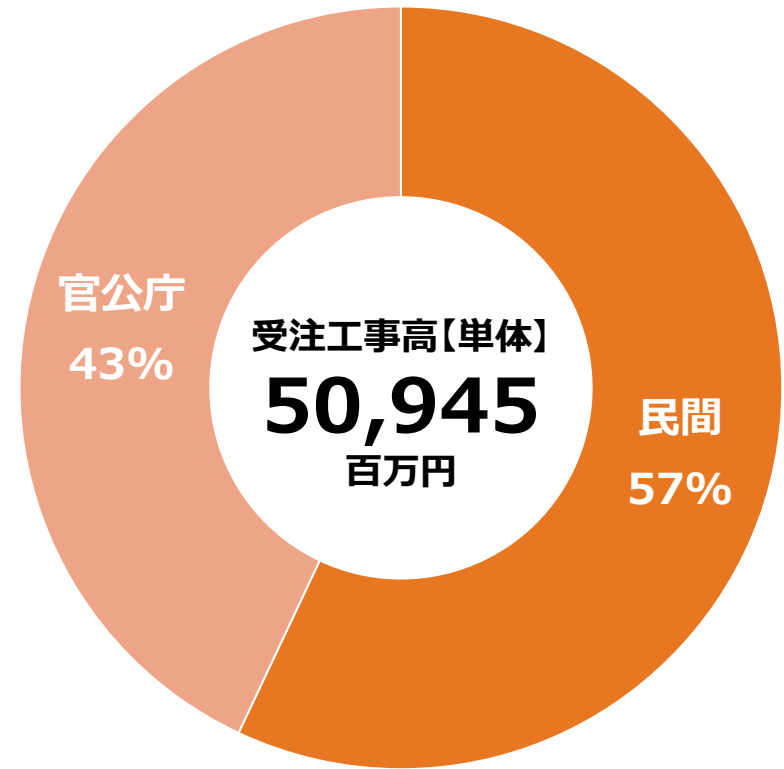
(2026年3月期実績)

【受注工事高】 売上構成比率（建物用途、官公庁/民間）

建物用途

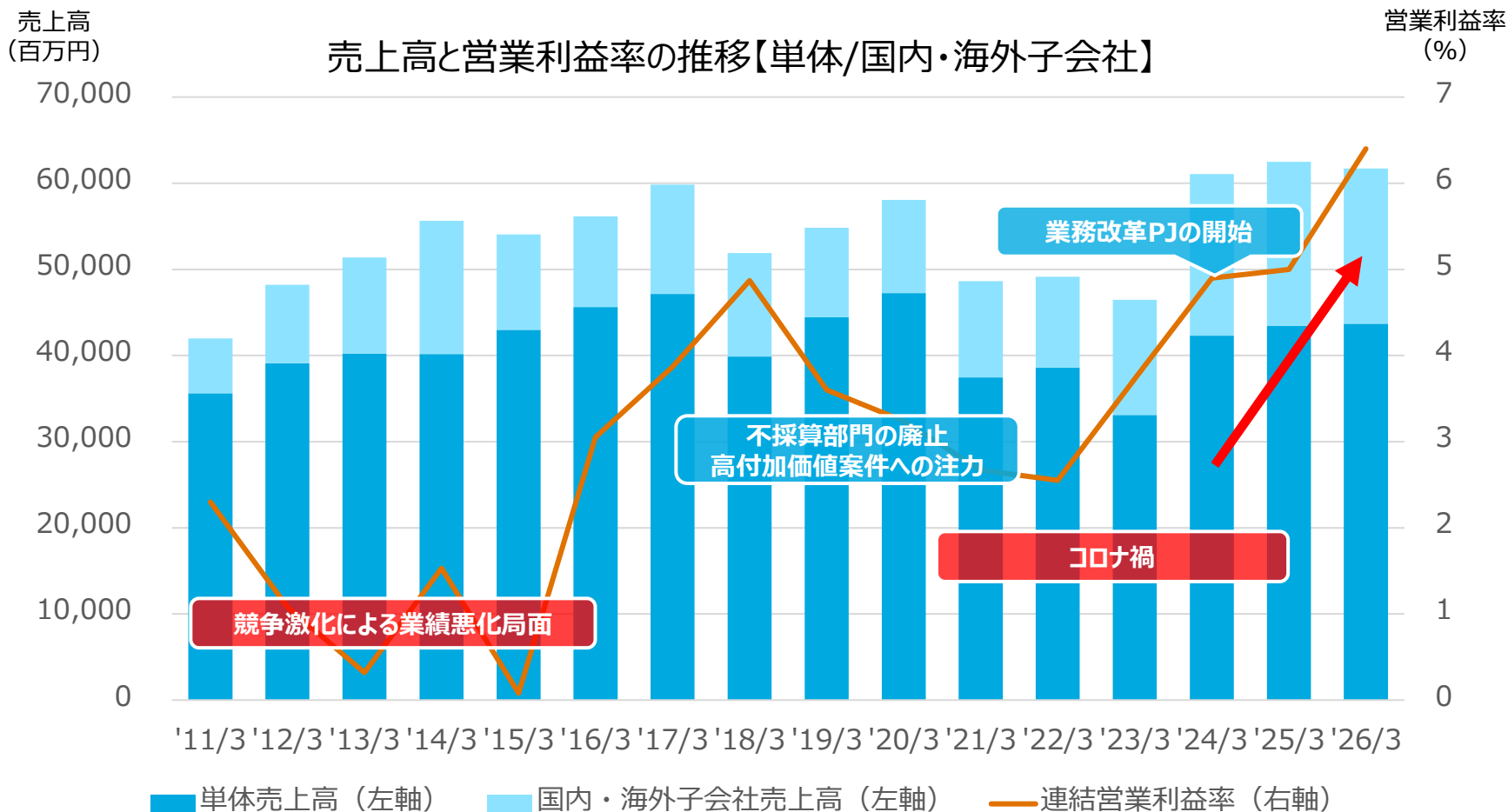


官公庁/民間



(2026年3月期実績)

- 直近では、業務改革PJ（デジタル経営による利益率・生産性向上をテーマとする取り組み）と市況の好転がかみ合い、業績は急角度で改善中



■ 社会貢献活動『LIVZON BEACH PROJECT』

- ・【第5弾】日本デフビーチバレーボール協会との協賛契約を締結
- ・当社所属のデフビーチバレーボールプレーヤー・伊藤碧紀選手、堀花梨選手が「東京2025デフリンピック」に日本代表として出場し、5位タイに入賞
- ・【第6弾】学生環境ボランティア団体『うみさんぽ』と支援契約を締結
当社ウェブサイト「LIVZON×SPORTS」にて、クリック募金を実施中
「第10回ビーチバレーLIVZONカップ」にて、クリーンアップ活動を共同で実施



写真左：伊藤 碧紀選手/写真右：堀 花梨選手



クリーンアップ活動後の様子

■ 大成温調の新たなデータ連携システム「LIVZON サイバープラットフォーム」が本格稼働

- ・新たなERP（基幹システム）と周辺に位置する各種業務アプリを連携
- ・データの一元管理と迅速な意思決定が可能となり、業務の効率化が期待される

■ 「Shibuya LOVEZ」とホールスポンサー契約を締結

- ・ 2026年6月に渋谷で開業するライブホール「Shibuya LOVEZ」（シブヤ ラブズ）
- ・ 当社は本施設の空調・衛生設備工事を担当



■ パーソルテンプスタッフとの協業、建設施工支援における人材育成スキームの共同構築を開始

- ・ 建設施工現場の支援業務アウトソーシングやBIM人材育成スキームの共同構築を開始
- ・ 働き方改革や生産性向上、技術者不足への対応を推進

■ 社員と家族を応援する「LIVZON エールプロジェクト」（通称：りぶえる）を拡充

- ・ 2026年4月より新卒・第二新卒入社社員を対象とした「奨学金代理返済制度」を導入
- ・ 社員の経済的・心理的負担を低減し、安心して働ける環境づくりを推進

■ 健康経営優良法人2026（大規模法人部門）に認定

- ・ 社員一人ひとりの健康が経営の基盤であるという考えのもと、健康保持・推進に向けた取り組みを推進
- ・ 健康的な職場づくり、ヘルスリテラシー向上、ワークライフバランス推進に継続して取り組む



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



【IR担当窓口】

事業企画統括部 IR広報部

E-mail: ir-info@taisei-oncho.co.jp

【ご注意事項】

本資料に記載されている当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因に加え突発的な内部要因により直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。